

令和6年度「がんばる介護事業所表彰」受賞事業所一覧

【自立支援部門】

事業所名（法人名） 【サービス種別】	取組み内容 ○…具体的な取組み内容
グループホーム あっとほ〜む砺波 （医療法人社団 明寿会） 【認知症対応型共同生活介護】	地域の一員として、あっとほ〜む砺波を周知してもらうとともに地域の方々との交流を図ることを実現。 ○鷹栖第10区環境保全委員との連携事業にて当施設で年2回の園芸活動を行い、その後、感謝祭を開催。そのほか、地区民運動会や地域の防災訓練、地域文化祭、鷹栖小学校学習発表会等の地域行事に積極的に参加するとともに、実習生の受け入れによる地元の高校との交流、カターレの試合の応援観戦を実施。
リハビリ特化型デイサービス Re-TAC （合同会社 Re-TAC） 【通所介護】	ヘルスリテラシーを高め、地域の方が住み慣れた場所で住み続けることのサポートを実現。 ○医療情報提供書などを確認し、疾患別のリスク管理を実施。心不全やCOPD、その他の難病にも対応。ヘルスリテラシーを高めるために、日常生活上の工夫や健康についての勉強会を毎回利用者に提供。テーマは毎週変更し、見返せるようにHPにも掲載。インボディでの体組成計測を3か月毎に全員に行い、生活習慣指導や栄養指導、運動指導などを実施。下肢の筋力体重比の測定で歩行自立度を数値化する工夫を実施。
老人保健施設アルカディア氷見 （医療法人社団 明寿会） 【介護老人保健施設】	「通所ケアに通ったなら、その施設で朝顔を植えてあげたい、皆さんに見せたい」という目標をもっていたI氏男性(94歳 要介護度2)の思いを実現。 ○朝顔を植える場所の条件（日当たり等や、施設の他の利用者や職員の誰にでも見てもらえること、I氏が作業するのに負担のかからない場所、状況）を検討し植付を実施。I氏の身体に無理がかからないよう、そしてデイ利用時には毎回朝顔の手入れに携われるよう職員が1人必ず付き添い、手伝える職員を集め、その日にやると決めた事を計画的に短時間で実施。
射水万葉会 天正寺サポートセンター （社会福祉法人 射水万葉会） 【認知症対応型共同生活介護】	災害時にも安心して生活できるように自助、公助の体制整備を行い、防災という非日常の行動を利用者・職員に対し、負担や違和感なくどのように日常生活の中に取り入れていくのかを考えて防災の取組みを実施。 ○避難訓練、シェイクアウト訓練、備蓄品（非常食）の試食、炊き出し訓練を実施。ケアプラン1表に避難所の場所を記載し、利用者と家族、職員の間で場所の共有を行うとともに、ケアプラン2表に災害に備えた歩行訓練、階段昇降等のリハビリを記載。そのほか、断水対策、BCPの共有、町内会の一時避難場所として要支援者の受入、職員の勉強会を実施。
介護老人保健施設みどり苑 （医療法人財団 五省会） 【介護老人保健施設】	脳卒中片麻痺利用者の復職を実現。 ○復職に向けて、セラピスト、ケアマネジャー、相談員、職場担当者とのカンファレンスを実施。リハビリプログラムを細分化し、目標達成に向けて家族や多職種と連携しながら介入を実施。毎月のリハビリ会議で、利用者の回復状況に応じて、適宜目標やプログラムを見直すとともに、月一回、自宅や職場へ訪問し動作評価や環境調整の提案を実施。

【雇用環境部門】

法人名	取組み内容 ○…具体的な取組み内容
グループホーム天神金さん銀さん (特定非営利活動法人生活支援センター アットホーム新川) 【認知症対応型共同生活介護】	I C Tの活用で職場環境の改善を実現。 ○手書きや音声入力など多彩なデータ入力方法を持つ介護記録アプリを導入。転記や申し送りなどの重複する作業を廃止、職員の事務負担を軽減するとともに、記録をクラウドサーバー上にデータとして記録することで複数の職員が複数の端末上で同時に参照できる環境を実現。
おおさわの介護老人保健施設かがやき (社会福祉法人おおさわの福祉会) 【介護老人保健施設】	職場環境改善のために短期間でICTを導入・利活用し、介護現場の連携を強化したことで、半年間で基本型から強化型老健になることを実現。 ○NASを使用してどの部署にいてもファイルを閲覧できるようにすることで、各部署の連携を円滑にしたほか、Docuworks文書を活用して、施設の上長までの報告期間を2週間から2日以内に短縮。ケアカルテ、ハナスト、全職員へ骨伝導インカムの貸与、出勤者へのiphone貸与、NTTオフィスリンクの導入を実施。
特別養護老人ホーム梨雲苑 (社会福祉法人 梨雲福祉会) 【介護老人福祉施設】	SNSを活用し「介護の魅力」「施設の魅力」「職員の魅力」を発信し、法人の認知度向上、職員の帰属意識向上を実現。 ○法人（施設・職員）を認知してもらう機会を増やすため、施設見学会を開催するとともに、就職説明会、ボランティア活動、イベント行事へ参加。昨年9月よりInstagram、Facebook、Youtube等を開設し魅力を発信。職員にとってもSNSをとおして、他部署の活動への理解が進み、自身の活動へのやりがいに寄与。
小規模多機能型くれば陽光苑 (社会福祉法人 陽光福祉会) 【小規模多機能型居宅介護】	Googleフォームを活用し「訪問サービス」の実施記録のパソコン入力的时间、実施チェック表作成時間短縮を実現。 ○紙ベースで行っていた訪問サービスのチェック、介護記録の作成をGoogleフォームを活用したものに変更することで、事務負担の軽減、記録時間の短縮を実現。
アモール居宅介護支援事業所 (株式会社 アモール) 【居宅介護支援事業所】	介護支援専門員の働き方を模索し在宅ワークへの取組みを実施。 ○介護保険請求ソフトのクラウド化、iPadの導入（外出先からの記録の入力を可能に）、事務所当番の設置（半日交代で勤務当番を設置、関係業者、利用者様への電話対応、他事業所へのFAX対応）、Zoomでの朝礼（昨日の業務報告・今日の業務スケジュールの報告）、ビジネスチャットの活用（業務の連絡や報告、退勤報告）を実施。